

あいち農産物生産流通レポート

平成28年9月号

	ページ
◎ 情報サロン ・ 多収で多用途の水稲「愛知125号」を開発	(農業総合試験場) 1
◎ 地域トピックス ・ JA愛知みなみ トマト・メロン集出荷施設が始動！ ・ 県内トップを切って新米出荷！あいち米初出荷式が開催されました！	(東三河農林水産事務所) 3 (海部農林水産事務所) 4
◎ 東日本情報 ・ 首都圏におけるミニトマトの動向について	(東京事務所) 5
◎ 西日本情報 ・ 「ふるさと全国県人会まつり」であいちの農産物をPR	(食育推進課) 7
◎ フラワーページ ・ カリスマフローリストに聞く～消費拡大の極意～	(東京事務所) 9
◎ 青果 ・ 愛知産青果物の動向(名古屋・東京市場)	11
・ 名古屋・東京市場における青果物の9月の見通し	12
◎ 花き ・ 切花・鉢花の9月の見通し(県内市場)	24
◎ 輸出入 ・ 主要農林水産物の輸出入実績(2016年6月)	28
◎ 関連指数	29

内容についての問合せ先

愛知県農林水産部食育推進課

(052)-954-6719

愛知県東京事務所行政課農産物流通対策グループ

(03)-5492-5400

多収で多用途の水稻「愛知 125 号」を開発

農業総合試験場

1 はじめに

日本人の1人当たりの米の消費量は、1960年代の118kg/年をピークとして減少し続けており、2014年度の消費量はピーク時の半分以下となっています。一方、日本の食糧自給率はカロリーベースで40%程度であり、先進国の中では最も低い水準です。自給率向上のためには、米の消費を拡大する必要があり、米を使ったパンや麺、主食用以外の新たな用途に注目が集まっています。

そこで、愛知県農業総合試験場では、2006年から製麺適性に優れ、麺の食味が良い多収品種の育成に取り組み、新品種「愛知125号」を開発しましたので紹介します。

2 開発の経緯

2006年に、^{きょうかん}強稈で耐倒伏性に優れ、多用途向き多収品種である「タカナリ」と、製麺適性に優れるインド型品種「Basilanon」を交配しました。その後、選抜を重ね、2014年に「愛知125号」と名付け、2015年3月に品種登録出願を行いました。



写真1 「愛知125号」の草姿

3 品種の特徴

「愛知125号」は、愛知県で最も作付面積の多い主食用品種の「あいちのかおり SBL」に比べ、デンプン成分のひとつであるアミロース含量が多いため、粘りが少なく、製麺適性、麺食味が優れています。穂長は30cm以上と長く（写真2）、収量性は飼料用品種で代表的な「モミロマン」と同等で、多収です。耐倒伏性に優れ、縞葉枯病や白葉枯病などの病気にも強いため、安定した多収栽培ができます。



写真2 穂の比較

上:愛知125号、下:あいちのかおりSBL

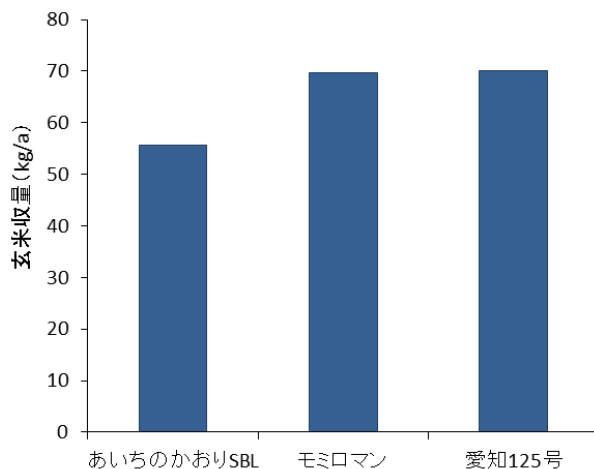


表1 玄米収量の比較



写真3 「愛知125号」の米麺

4 新たな加工法による新規食品

「愛知 125 号」は麺用品種として開発しましたが、新たな加工適性も注目されています。アミロース含量が多い「愛知 125 号」は、炊飯した米を高速せん断する新たな加工法(ダイレクト Gel 転換)により、ゲル状(米ゲル)にすることができます。この米ゲルを油脂、卵等の代替として利用できるため、ケーキ、シュークリーム、ムースなどの洋菓子を作ることができ、低カロリー食品やアレルギー患者向けの治療食への応用が考えられます。また、保水性が高いため、食品にしっとり感を持たせることができ、水分調整により様々な物性にコントロールできることから、介護食への展開も期待されます。

「愛知 125 号」の導入は、多様な加工用途を持った米を安定的に生産することを可能とするだけでなく、地域産の米を利用した特産品などの開発にも貢献できます。



写真 4 米ゲル



写真 5 米ゲルを使った洋菓子

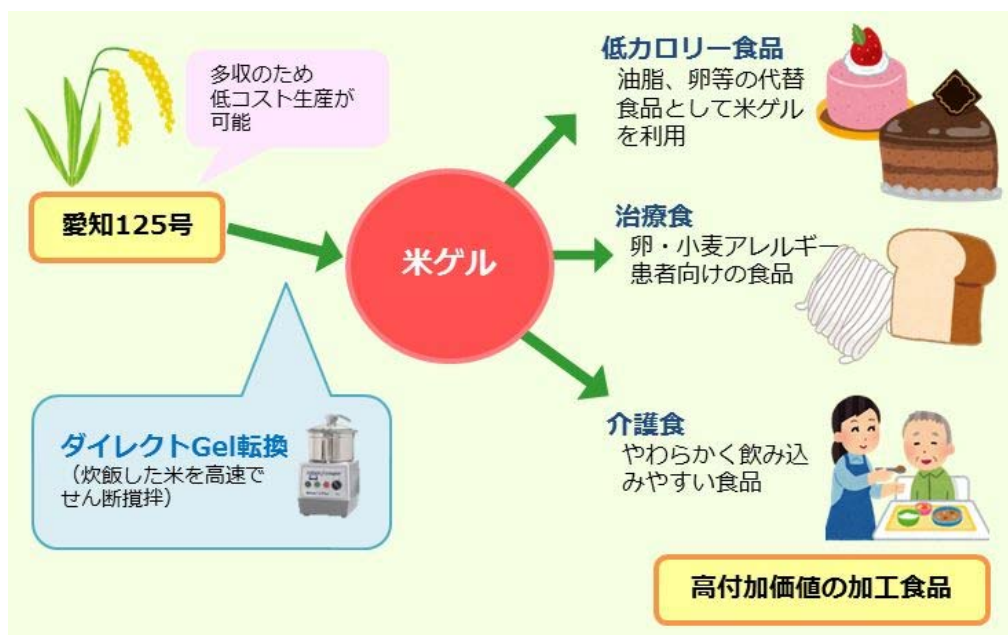


図 1 「愛知 125 号」を用いた加工例

5 飼料用米としての利用

農林水産省の新たな「食料・農業・農村基本計画」では、飼料用米の生産目標を掲げて増産に取り組んでいます。「愛知 125 号」は多収であることから、飼料用米にも向くため、2016 年 8 月に本県の飼料作物の奨励品種に採用されました。また、本県のブランド「肉用名古屋コーチン」に、高騰する輸入飼料の代替として「愛知 125 号」を給与したところ、体重の増加量が多くなり、鶏肉中のオレイン酸含量が増加し、今後、畜産の盛んな地域を中心に、飼料用米としての普及も期待されています。

J A 愛知みなみ トマト・メロン集出荷施設が始動！

東三河農林水産事務所

J A 愛知みなみが平成 26 年度（繰越）強い農業づくり事業を活用し、平成 28 年 3 月、田原市福江町に竣工したトマト・メロン集出荷施設が本格始動しました。

1 導入の経緯

J A 愛知みなみは、平成 13 年度に 3 J A（J A 田原町、J A 赤羽根町、J A 愛知渥美町）が合併して新しく誕生しましたが、トマトの選果施設は、これまでの旧 J A が導入した施設を引き続き使用してきたことから、選果施設の老朽化が進むとともに、販売先の分散による販売ロットの確保が難しい状態が続いていました。

またメロンは、栽培面積が年々減少していますが、夏場の贈答用には必要不可欠な商品としてニーズがあり、これまで築き上げてきた「渥美半島のメロン」ブランドの維持が重要な課題となっていました。

こうした状況に対応するため、J A 愛知みなみは、既存施設を整理統合して新しい集出荷施設を整備しました。

2 施設の特徴と期待される効果

新しい集出荷施設はトマト・メロン兼用型のフリートレーに形状色彩選別や糖度センサーを備え付けた選果施設です。このことにより、糖度選別による差別化販売が可能となります。さらに施設統合により選果時間の短縮や、出荷指示の一本化による効率化も期待されています。

これまでそれぞれの集出荷施設で行われてきた選果方法や個体管理が統一されることで、品質のそろったトマト・メロンを消費地に届けることができ、今まで以上に市場や消費者等からの評価・信頼に応えられる産地を目指します。

【事業概要】

事業主体	愛知みなみ農業協同組合
整備内容	トマト・メロン集出荷施設 鉄骨 2 階建 6,902.35 m² 選果設備一式 フリートレー 4 条型 選別装置 2 台 (形状・色彩・糖度選別) 自動箱詰ライン 8 条 ロボットパレタイザー 1 台 製品用プールコンベア 24 条 製函機 5 台 (トマト 2、メロン 3)
事業費等	総事業費 1,027,566,000 円 うち国庫補助金 464,020,000 円
受 益	トマト 141 戸 (59.2ha) メロン 94 戸 (22.2ha) 露地メロン 14 戸 (8.4ha)
取扱量等	年間出荷量 (日当たり最大処理) トマト 6,147t (48.9t) メロン 567t (24.7t) 露地メロン 298t (10.7t)



新しく整備した集出荷施設



集出荷施設内の選果ライン

県内トップを切って新米出荷！ あいち米初出荷式が開催されました！

海部農林水産事務所

早場米の産地である弥富市鍋田から平成 28 年 8 月 12 日（金）、県内トップを切って新米が出荷されました。

1 平成 28 年産あいち米初出荷式

この日、J A 鍋田支店集出荷場で安藤正明県議、加藤農林水産部長ら関係者が臨席し初出荷式が開催されました（J A あいち海部、J A あいち経済連主催）。

一日検査員を委嘱されたミス弥富による検査、出席者によるテープカットセレモニーの後、県内で最も早く「あきたこまち」5,861 袋（1 袋 30kg）を積んだトラックが新米出荷の幟をはためかせ出発しました。

出荷された米はすべて 1 等米で、翌日 13 日から A コープ始め県内のスーパーで販売されました。



初出荷式でのテープカットセレモニー

2 消費者交流会

式典後の会場では、安全・安心な取組で「安心あいち米」として売り出している県産米を味わってもらおうと、新米のおにぎりが夏休み中の子どもたちや消費者に振る舞われました。また、県が育成した小麦「きぬあかり」を製麺したきしめんも提供され喜ばれました。



消費者交流会の様子

J A あいち海部鍋田支店管内では、約 488ha の水稻作付のうち早場米の「あきたこまち」と「コシヒカリ」が 9 割近くを占めます。今年産の「あきたこまち」は、収量は平年並みとみられ、高温障害は少なく品質は良好でした。

首都圏におけるミニトマトの動向について

東京事務所行政課農産物流通対策グループ

ミニトマトは、一口サイズでそのまま使えることからサラダやお弁当などに多く利用されています。また最近では赤色だけでなく黄色や緑色など彩り豊かな種類が登場し、さらに注目を集めています。

今回は、東京都中央卸売市場における平成27年産ミニトマトの入荷実績と首都圏量販店等食品スーパーでの販売状況について報告します。

1 ミニトマトの入荷状況

平成27年の東京都中央卸売市場における本県産ミニトマトの入荷割合は17.3%（入荷量：3,573 t、取扱額：28億円）でした（図1）。

首都圏に出荷する県内の主な産地は、豊橋市、豊川市、田原市で、主な入荷時期は1－6月と11、12月となっています。

入荷割合が最も高かったのは、熊本県（以下、県を省略）で24.2%を占めており、本県の次には茨城（10.2%）、千葉（8.6%）、北海道（7.8%）、宮崎（7.6%）となっています。

東京都中央卸売市場におけるミニトマトの年間入荷量は、直近の10年間で12,956 t（18年）から20,620 t（27年）と159%の伸びを示していました。また年平均単価は毎年600円/kg前後で推移しており、大きな単価の下落もないことからミニトマトの需要が大幅に拡大してきたことがうかがえます。

18年の入荷実績を基準としたとき、直近10年間の主要産地の入荷量伸び率は図2のようになっています。本県の伸び率は125%で、この10年で格段に入荷量が増えた産地は、熊本（262%）、北海道（250%）、宮崎（230%）、青森（226%）、茨城（192%）でした。市場関係者からは、出荷形態が3kgバラ詰めである熊本、北海道、茨城は作付面積が増加傾向

図1 平成27年の産地別入荷実績

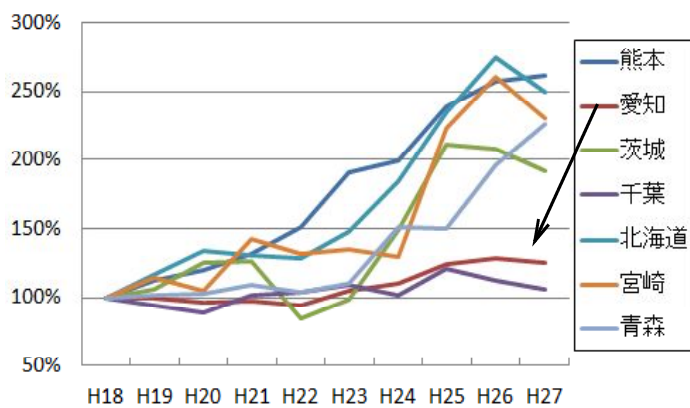
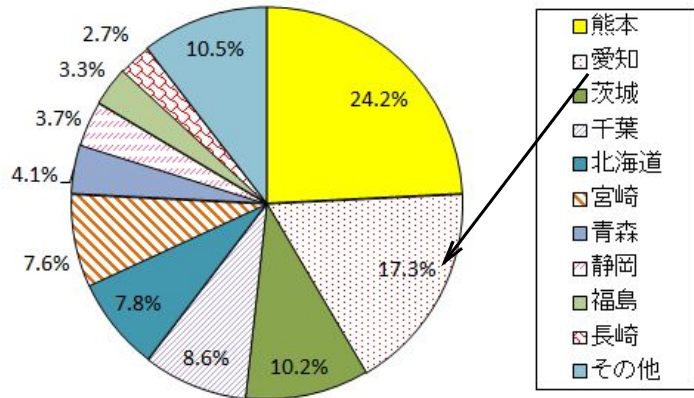


図2 産地別入荷量の伸び率

にあり、パック主体の産地は作付け面積横ばい傾向だといわれていました。バラ詰めによる出荷作業労力の軽減が作付面積の拡大を可能とし、入荷量の増大につながっていると思われる。

2 ミニトマトの販売状況

ミニトマトは、最近では赤色だけでなく黄色や緑色等が登場し、彩り豊かになってきました。そこで、今年8月に任意に選んだ、都内にある量販店等食品スーパー20店舗（16社）に赴き、ミニトマトの販売状況を調査しました。

販売形態は、調査したすべての店舗でパック販売が行われており、バイキング方式^{*}を取り入れている店舗は全体の20%でした（図3）。バイキング方式では主に赤、黄、オレンジ、緑色が用意されており、パック販売でも赤、黄、オレンジなど混合するなどして販売する店舗は75%ありました。彩り豊かなミニトマトは、生鮮野菜売場の目玉商品になっていると感じました。

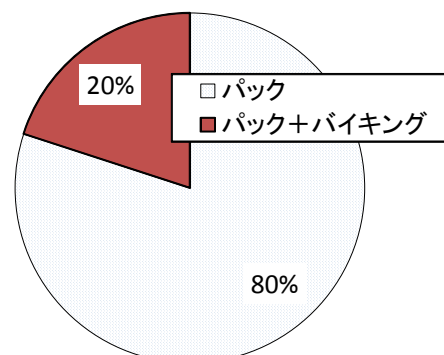


図3 食品スーパーの販売形態

ミニトマトは、これまでも安定した需要のある品目となっています。食品スーパーでの販売の中心は赤色のパック販売ですが、彩り豊かな種類の登場によってさらなる消費拡大に期待が持てると思われました。

※バイキング方式：ファミリーレストランにあるサラダバーのように、好みのミニトマトを選んで指定された容器に自分で詰めて購入する。

「ふるさと全国県人会まつり」であいちの農産物をPR

食育推進課 企画・情報グループ

○ふるさと全国県人会まつりについて

ふるさと全国県人会まつりは、東海地区にある道県人会と東海3県、名古屋市などが、郷土芸能、特産品販売、観光PRなどを通じてふるさとの魅力を紹介するまつりで、今年で16回目を迎えます。毎年多くの来場者で賑わい、昨年はおよそ16万4千人の方が来場されました。

○今年度のテーマは「笑顔広がる！ふるさとの思い」

今年は「笑顔広がる！ふるさとの思い」をテーマとし、各県人会などが郷土料理やお酒などの販売・PRを行うなど、過去最多となる98ブースが出展します。また、ステージでは、出展ブースの一押しグルメを紹介する新企画をはじめ、郷土芸能の披露や人気のご当地キャラクターが大集合するなど、盛りだくさんの内容となっています。会場を一周すれば、日本全国の魅力を味わうことができます。

【『ふるさと全国県人会まつり2016』の概要】

【名称】	「笑顔広がる！ふるさとの思い」ふるさと全国県人会まつり2016
【開催日】	平成28年9月10日（土）～11日（日）
【時間】	午前9：30～ ★雨天決行
【場所】	久屋大通公園／久屋広場（名古屋市中区） （地下鉄名城線「矢場町」駅 徒歩1分）
【料金】	入場無料
【内容】	東海地区にある道県人会を中心に、郷土芸能、特産品販売、観光PRなどを通してふるさとの魅力を紹介する。 <ul style="list-style-type: none">・各県人会によるブース出展、ステージでの郷土芸能披露・ふるさと絵手紙コーナー・郷土♡（あい）もりあげ隊アイドルユニット「OS☆U」・ふるさとの読売新聞展示・ゆるキャラ!!大集合、クイズラリー抽選会・（新企画）ふるさとグルメ自慢

○愛知県からは5ブースが出展

本県は、ブース出展及びステージ出演などで毎年参加しており、地元の魅力を発信するため5ブースを出展します。

食育推進課は、愛知県農産物需要拡大推進協議会（構成：愛知県、愛知県経済農業協同組合連合会）として梨、いちじくなど新鮮なあいちの農産物の販売によるPRを行います。この機会にぜひお召し上がりいただき、本県産農産物の魅力を感じていただきたいと思えます。

【愛知県ブースの概要】

出展所属	ブース概要
農林水産部 食育推進課	本県産青果物の販売 リーフレット、レシピの配布
農林水産部 畜産課	名古屋コーチンの焼き鳥・つくねの販売 PR資材の配布
農林水産部 農業振興課	愛知産ジビエの試食・アンケート調査 鳥獣被害周知
産業労働部 産業振興課	愛知の地酒・みりんPR
その他	愛知県政情報・イベント等PR

○昨年度の様子



カリスマフローリストに聞く～消費拡大の極意～

東京事務所行政課農産物流通対策グループ

一世帯あたりの花き消費は、1990年代以降減少基調で推移しています。このような状況の中、花きの安定的な生産のためには、その消費拡大が重要な課題となっています。

このたび、ELFバケットシステム*¹の普及・啓発を行う日本ELFシステム協会(JELFA)により、花きの消費拡大に向けたセミナーが開催されましたので概要を報告します。

JELFA フォーラム 2016「カリスマフローリストに聞く～消費拡大の極意～」

期日：平成28年8月24日（水）

場所：東京都千代田区大手町「大手町サンスカイルーム」

内容：対談（月刊フローリスト編集長 大関真哉氏 × (一社)Nフラワーデザインインターナショナル代表理事 永塚慎一氏）
アレンジメント作成（(一社)Nフラワーデザインインターナショナル代表理事 永塚慎一氏）

○「YouTube」での情報発信

講師の永塚氏は、数々のフラワーコンテストで入賞や優勝経験を持つフラワーデザイナーで、インターネットを活用した情報発信を積極的に行っています。月刊フローリスト編集長の大関氏との対談では、インターネットの動画共有サービス「YouTube」での情報発信について熱く語っていました。

永塚氏は「YouTube」の個人チャンネル「Flower TV」により、花束やアレンジメント作成のテクニックを紹介しています。チャンネル登録者数は約1万人であり、他世代に対し「YouTube」の利用頻度が少ないといわれる中高年女性層が中心となっていることが特徴とのこと。同氏は「YouTube」について「お金をもらいながらコマーシャルできる特殊なメディア*²。」とし、「チャンネル登録により年齢や性別などの属性が確認でき、再生回数によりどんな内容に興味があるのか把握できる。」と指摘していました。「YouTube」は、花きに興味のある消費者層の属性と、その興味の所在を探るためのアンテナとして活用できると感じました。



対談する大関氏(左)と永塚氏(右)



アレンジメントを作成する永塚氏

また、同氏は生産者に対して「生育状況の定点観測や箱詰めシーンなどは消費者の関心も高いと思う。積極的に動画で情報発信してはどうか？」と呼びかけていました。

○花きの消費拡大に求められること

永塚氏は、花き小売り店の販売対策として「物販販売を中心に据え、ギフト向け商材をネット通販したところで大手事業者にはかなわない。」と指摘しており、安定的な販売のためには、「100円でもよいので、毎日花を購入してもらうことが重要。」と話していました。

また、「花育」の話題となった際は「現在の『花育』は子供をターゲットにしているが、幼少期は興味関心がたくさんある。数回の花に触れる機会があったとして、花を消費する習慣が定着するとは思えない。」と厳しいコメントを寄せていました。

同氏は、「花きの消費は中高年齢層が中心となっているが、これは積極的に花きを購入する層が高齢化した結果でなく、中高齢になると花きに興味が出てくることによる。」と分析しています。このため、花きの消費拡大に取り組む際は、「30代から40代の女性をメインターゲットとした取組を展開していくことが効果的。」とのことでした。

対談の後、会場では永塚氏によるフラワーアレンジメントの実演が披露されました。「ノープランスタイル」ということで、直前まで花材が知らされない中でのアレンジとなりましたが、見事な作品が作られました。会場に飾られたアレンジメントのまわりでは写真を撮る参加者が多く見られ、フォーラムは盛況のうちに幕を閉じました。

- * 1 産地の出荷から卸売事業者、仲卸事業者等への販売まで、輸送・販売容器を兼ねた専用バケツ「ELFバケツ」で流通させる仕組み。
- * 2 YouTubeでは、チャンネル登録し、動画再生時に広告掲載するよう設定することで、再生回数に応じて広告収入を得ることができる。



制作されたアレンジメント



撮影を行う永塚氏。アレンジメントの作成にあわせて、「YouTube」用の動画撮影もされました。

愛 知 産 青 果 物 の 動 向

「青果物の見通し」及び「花きの見通し」ページにおいて使用する『変動の幅を表す用語』につきましては、下記の基準で記載しております。

わずか : ± 2 % 台以内
 や や : ± 3 ~ 5 % 台
 かなり : ± 6 ~ 15 % 台
 大 幅 : ± 1 6 % 以上

○ 名古屋市中心卸売市場（品目：いちじく）

	入 荷 量 (t)	卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な産地 (上位3産地)	
		うち愛知産	愛知産		
27年実績	117	117 (100%)	699	699	愛知 (100%)
28年見通し	130	—	600	—	
入荷量及び卸売価格の概要と見通し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>産地はほぼ愛知で知多、三河地方が中心となる。品種は榊井ドーフィン、サマーレッド。気温も高かったため前進して出荷されている。また、台風もなく、順調な出荷でかなりの出荷量となる。他の果実も台風もなく順調に出ているため、売場の確保が厳しい状況。入荷量は前年を大幅に上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>			<p>露地物で天候に左右されるため、雨が降ると商品が無く、晴れると商品が出るというような状況で計画的な販売が難しい商品で、売り手の方から避けられる傾向にある。雨よけなどで計画出荷に努めて欲しい。</p>		

○ 東京都中央卸売市場（ぎんなん）

	入 荷 量 (t)	卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)	
		うち愛知産	愛知産		
27年実績	367	135 (37%)	1,226	1,499	茨城 (19%) 静岡 (7%) 埼玉 (7%)
28年見通し	370	—	1,180	—	
入荷量及び卸売価格の概要と見通し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>愛知産の入荷は、9月から本格化し、10月にピークを迎える。本年は着果過多となっており、豊作年が続くことから小粒傾向の様相。多かった前年並の出荷が見込まれる。他産地も徐々に入荷が始まるが量的に少ない。入荷量は前年並で、価格は前年をわずかに下回る見込み。</p>			<p>ぎんなんは秋の味覚として業務筋を中心に人気が高い。愛知産は黒箱のイメージが定着しており、品質・選別ともに良好で、今後も継続した取組をお願いしたい。9月は高温、多湿の日が多く、カビの発生が懸念されるので、出荷に際しては選別や品質保持の徹底をお願いしたい。</p>		

名古屋・東京市場における青果物の9月の見通し

名古屋市中央卸売市場

※グラフは白抜き箇所が見通しとなります。

8月18日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)
			上旬	中旬	下旬	
野菜	23年	33,487	237	230	242	北海道 48%
	24年	33,747	223	217	225	長野 19%
	25年	35,362	175	175	172	群馬 9%
	26年	32,269	234	230	238	青森 5%
	27年	35,201	258	249	251	
	計	5ヵ年平均	34,013	225	—	—
28年見通し	35,100	211	—	—		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
<p>北海道を中心に、長野、群馬、青森などから入荷する。 北海道は8月の台風9・11号による雨の影響を受けており、いずれの土物品目も作柄は良くない。高冷地は大きな影響を受けず、概ね順調。今後の台風等の状況により動向の変化があるものの、入荷量は前年並で、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>						
だいこん	23年	2,033	122	107	135	北海道 50%
	24年	2,194	86	87	89	青森 40%
	25年	1,905	130	126	136	岐阜 8%
	26年	1,983	124	132	118	新潟 2%
	27年	2,179	112	114	116	
	計	5ヵ年平均	2,059	114	113	117
28年見通し	2,000	120	120	120		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
<p>北海道、青森中心に、一部岐阜などから入荷する。7月播種ものはやや生育が遅れている。また、北海道は不安定なできばえで、ボリューム感のあるものが少ない。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>						
にんじん	23年	2,458	119	128	127	北海道 100%
	24年	2,411	104	103	92	
	25年	2,377	135	133	139	
	26年	2,361	123	128	117	
	27年	2,182	159	167	146	
	計	5ヵ年平均	2,358	127	131	124
28年見通し	2,200	150	140	160		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
<p>ほぼ全量が北海道から入荷する。だいこん同様に6月の天候不順、低温の影響で発芽不良があり、不安定なできばえ。7月播種ものが下旬から入荷するが、S、M中心の傾向。2L、Lは学校給食用の需要が増え、引き合いが強い。 入荷量は前年並で、価格はやや下回る見込み。</p>						

東京都中央卸売市場

8月29日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜	23年	128,293	244	236	248	249	北海道 35%
	24年	131,883	194	183	199	202	長野 15%
	25年	131,101	253	247	268	245	群馬 13%
	26年	133,870	271	290	268	256	青森 8%
	27年	133,468	284	277	297	280	茨城 6%
	計	5ヵ年平均	131,723	249	—	—	—
28年見通し	130,000	245	—	—	—		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>北海道から土物類や根菜類、関東高冷地からは葉茎菜類や果菜類が入荷する。盆明けからの連続した台風の影響で北海道や関東東部で被害が発生、今後の秋冬作への影響が懸念材料。</p> <p>入荷量は前年をやや下回り、価格は高かった前年をかなり下回る見込み。</p>							
だいこん	23年	11,320	114	96	117	131	北海道 62%
	24年	11,091	85	83	85	88	青森 33%
	25年	11,477	126	116	131	131	岩手 3%
	26年	12,945	122	131	120	114	
	27年	13,486	110	111	110	110	
	計	5ヵ年平均	12,064	112	108	113	115
28年見通し	12,000	115	120	115	110		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>北海道、青森からの入荷が中心となる。北海道は盆明けからの台風の影響で出荷は少なくなる見込み。青森は降雨で一部播種できない地域があったが生育は概ね良好で中旬に出荷ピークを迎える見込み。</p> <p>入荷量は多かった前年をかなり下回り、価格は前年をやや上回る見込み。</p>							
にんじん	23年	7,374	126	126	124	129	北海道 98%
	24年	6,933	112	106	118	111	中国 2%
	25年	7,561	133	130	132	136	
	26年	8,455	114	116	117	109	
	27年	7,847	155	160	163	141	
	計	5ヵ年平均	7,634	128	128	131	125
28年見通し	7,500	150	140	150	160		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>北海道からの入荷がほとんどを占める。北海道は作付面積減のなかMS中心出荷。中旬頃まで出荷ピークとなる見込み。盆明けからの台風の影響で出荷は少なくなる見込み。</p> <p>入荷量は前年をやや下回り、価格は高かった前年をやや下回る見込み。</p>							

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうき	23年	2,339	107	89	128	122	長野 91% 北海道 9%
	24年	2,489	52	54	57	55	
	25年	2,225	98	110	123	84	
	26年	2,061	146	189	131	150	
	27年	2,141	133	131	171	110	
さい	5ヵ年平均	2,251	105	112	120	103	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	2,300	80	70	80	90	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>長野の北佐久、南佐久を中心に、一部北海道から入荷する。昨年に比べ雇用の確保が問題なく確保され、生産量が増えている。今後の気温変化にも左右はされるものの、8月に続き順調な入荷が見込まれる。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。</p>					
キャベツ	23年	4,396	85	73	85	101	群馬 67% 長野 16% 北海道 13% 茨城 2%
	24年	4,873	55	54	59	55	
	25年	4,221	93	90	95	97	
	26年	4,638	132	126	135	145	
	27年	4,304	134	117	142	150	
べつ	5ヵ年平均	4,486	99	91	103	109	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	4,600	70	60	70	80	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>群馬を中心に、長野、北海道などから入荷する。昨年は、降雪や干ばつの影響で数量が減ったが、今作は適度な降雨もあり順調で潤沢な入荷を見込む。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。</p>					
ほうれんそう	23年	191	800	744	969	746	岐阜 75% 愛知 12% 長野 5% 群馬 4%
	24年	192	807	775	826	823	
	25年	170	877	876	928	839	
	26年	193	817	996	795	712	
	27年	173	859	845	952	843	
らん	5ヵ年平均	184	830	847	892	790	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	175	850	850	850	850	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>岐阜を中心に愛知などから入荷する。例年同様、高温の影響で出荷量は少ない。9月下旬で愛知のハウス物が始まる。 入荷量、価格ともに前年並の見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうきさい	23年	8,101	107	82	116	121	長野 85%
	24年	7,816	52	48	53	55	北海道 10%
	25年	9,114	99	103	114	83	群馬 5%
	26年	9,321	146	177	131	135	
	27年	10,601	127	120	155	108	
ほうきさい	5ヵ年平均	8,991	109	109	117	102	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	10,500	57	60	55	55	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>長野を中心に北海道、群馬からの入荷となる。長野は定植が順調に進み生育はやや前進傾向。8月前半は干ばつ気味だったが盆明け以降は適度な降雨で生育は回復傾向。順調出荷が期待できる。</p> <p>入荷量は多かった前年並で、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>					
		<p>数量 (トン) と単価 (円/kg) の推移グラフ。数量は10月～12月にかけて増加傾向にあり、1月～5月にかけて減少傾向にあり、6月～9月にかけて増加傾向にあり。単価は10月～12月にかけて減少傾向にあり、1月～5月にかけて増加傾向にあり、6月～9月にかけて減少傾向にあり。</p>					
キャベツ	23年	15,362	85	71	84	103	群馬 76%
	24年	14,759	52	49	55	52	岩手 14%
	25年	14,560	97	90	100	100	長野 4%
	26年	15,336	140	131	140	151	北海道 3%
	27年	15,784	142	122	148	155	青森 2%
キャベツ	5ヵ年平均	15,160	104	93	106	113	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	16,100	67	70	65	65	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>群馬、岩手からの入荷が中心となる。群馬は生育良好で順調に玉肥大しており前年を上回る出荷の見込み。岩手は病害が散見されるが全体的に生育は概ね良好で8玉中心出荷の見込み。</p> <p>入荷量は前年をわずかに上回り、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。</p>					
		<p>数量 (トン) と単価 (円/kg) の推移グラフ。数量は10月～12月にかけて減少傾向にあり、1月～5月にかけて増加傾向にあり、6月～9月にかけて減少傾向にあり。単価は10月～12月にかけて減少傾向にあり、1月～5月にかけて増加傾向にあり、6月～9月にかけて減少傾向にあり。</p>					
ほうれんそう	23年	879	738	759	765	690	群馬 27%
	24年	860	724	759	714	699	茨城 19%
	25年	862	770	787	813	717	栃木 18%
	26年	1,034	728	964	717	597	岩手 12%
	27年	909	846	886	948	747	岐阜 7%
ほうれんそう	5ヵ年平均	909	761	836	790	687	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	930	750	760	760	730	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>群馬など関東高冷地と岩手からの入荷が中心となる。群馬は生育良好で前年並出荷の見込み。岩手は高温の影響で生育が停滞しているが今後出荷が増えてくる見込み。</p> <p>入荷量は前年をわずかに上回り、価格は高かった前年をかなり下回る見込み。</p>					
		<p>数量 (トン) と単価 (円/kg) の推移グラフ。数量は10月～12月にかけて増加傾向にあり、1月～5月にかけて減少傾向にあり、6月～9月にかけて増加傾向にあり。単価は10月～12月にかけて減少傾向にあり、1月～5月にかけて増加傾向にあり、6月～9月にかけて減少傾向にあり。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	23年	937	366	353	357	397	北海道 45%
	24年	932	336	321	350	343	長野 14%
	25年	894	394	413	407	368	富山 8%
	26年	1,078	357	389	352	341	秋田 7%
	27年	913	448	409	493	450	
ぎ	5ヵ年平均	951	379	377	390	378	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
ぎ	28年見通し	900	380	380	380	380	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量 単価 円/Kg		
		北海道を中心に長野、愛知など各地から 入荷する。白ねぎは北海道、富山中心で前 半は数量が多いが、後半は高温の影響で品 質が低下し下級品が増える。長ねぎは愛知 中心に出るが、生産量は少ない。 入荷量は前年並み、価格は高かった前年 をかなり下回る見込み。					
し	23年	1,627	278	315	341	237	長野 97%
	24年	2,265	122	133	136	117	茨城 1%
	25年	2,361	177	140	214	201	愛知 1%
	26年	2,122	291	319	303	269	
	27年	1,998	298	225	359	341	
ス	5ヵ年平均	2,075	227	219	263	229	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
ス	28年見通し	2,200	160	130	150	200	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量 単価 円/Kg		
		長野を中心に入荷する。 天候の影響もなく、順調な入荷で9~10 万ケース/日で推移している。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は高 かった前年を大幅に下回る見込み。					
き	23年	1,348	365	362	340	424	長野 30%
	24年	1,461	214	214	198	251	北海道 22%
	25年	1,213	415	387	472	395	山梨 19%
	26年	1,245	380	471	339	341	群馬 10%
	27年	1,263	415	473	452	347	
り	5ヵ年平均	1,306	353	376	354	349	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
り	28年見通し	1,250	380	400	400	350	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量 単価 円/Kg		
		長野、関東、山梨、北海道などから入荷 する。8月は高温で前進傾向で進み、夏秋 のピークは越した。9月は前進化の影響が 出て株に力が無く、量も多くない。 入荷量は前年並、価格は前年をかなり下 回る見込み。					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	23年	4,763	365	290	357	449	青森 26%
	24年	4,712	332	306	326	367	北海道 21%
	25年	5,189	349	373	346	329	秋田 15%
	26年	5,667	304	330	304	279	山形 8%
	27年	5,162	435	400	482	426	茨城 6%
ねぎ	5ヵ年平均	5,099	356	341	363	367	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	5,000	307	300	300	320	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>青森、北海道、秋田、茨城からの入荷が中心となる。青森は8月前半は干ばつ気味だったがその後の降雨で生育は概ね良好で太りも順調の見込み。各産地台風の影響で病害発生が懸念材料。</p> <p>入荷量は前年をやや下回り、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。</p>					
し た	23年	7,253	302	353	338	218	長野 84%
	24年	9,554	116	120	123	104	群馬 9%
	25年	9,564	179	137	213	191	岩手 2%
	26年	7,769	312	367	322	250	茨城 2%
	27年	8,192	315	236	389	334	北海道 1%
し ス	5ヵ年平均	8,466	237	232	268	214	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	8,400	150	150	150	150	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>長野を中心に、群馬などからの入荷となる。長野は8月前半の干ばつで生育停滞気味だったがその後の降雨で回復傾向。群馬は生育良好で順調出荷の見込み。</p> <p>入荷量は前年をわずかに上回り、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。</p>					
き ゆ	23年	7,388	321	314	277	401	福島 28%
	24年	8,515	174	170	149	221	岩手 15%
	25年	7,028	379	352	422	366	秋田 11%
	26年	7,096	345	433	301	307	群馬 9%
	27年	6,876	374	435	388	313	埼玉 9%
き う り	5ヵ年平均	7,381	313	333	300	318	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	7,100	320	330	320	310	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>福島、岩手など東北から関東産地への移行時期となる。東北はピークを過ぎ、株疲れの影響もあって出荷が徐々に減少する見込み。群馬は下旬ごろに出揃う見込み。台風の影響で病害発生が懸念材料。</p> <p>入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
な	23年	732	313	274	329	365	山梨 32%
	24年	935	208	192	207	237	愛知 24%
	25年	713	336	339	338	336	徳島 13%
	26年	777	337	414	356	259	茨城 10%
	27年	688	391	345	420	410	
す	5ヵ年平均	769	311	307	323	315	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	750	300	280	300	320	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>山梨、愛知、徳島などから入荷する。干ばつ気味で病気は少ないが、高温の影響で花落ちが多い。また、ぼけ果が増えている。入荷量は前年をかなり上回り、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。</p>					
ト マ ト	23年	1,439	387	402	362	405	岐阜 57%
	24年	1,472	364	290	421	413	北海道 23%
	25年	1,455	411	401	411	429	愛知 8%
	26年	1,217	463	405	445	606	長野 3%
	27年	1,290	477	467	499	466	
ト	5ヵ年平均	1,375	418	391	425	459	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	1,300	420	380	420	450	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>岐阜、北海道を中心に愛知、茨城などから入荷する。高温の影響で着花や樹勢が弱く、生育が良くない。そのため中旬以降の出荷は安定しない。北海道は台風によるほ場冠水の影響も懸念される。入荷量は前年並、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					
ミ ニ ト マ ト	23年	373	736	731	713	774	北海道 75%
	24年	429	649	462	717	847	茨城 10%
	25年	379	846	738	969	844	長野 7%
	26年	375	936	857	913	1,097	愛知 4%
	27年	439	1,026	899	1,168	1,008	
ト	5ヵ年平均	399	840	735	900	915	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	400	900	800	1,000	900	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道が中心に一部愛知、長野から入荷する。着果も良好で、安定した入荷が見込まれる。入荷量は前年をかなり下回る。また、価格も高かった前年をかなり下回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
な す	23年	3,949	306	278	286	387	栃木 31%
	24年	4,553	208	186	207	245	群馬 24%
	25年	5,478	207	314	362	385	茨城 21%
	26年	3,913	360	393	378	303	埼玉 6%
	27年	3,280	411	400	418	417	高知 4%
	5ヵ年平均	4,235	286	308	326	345	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
28年見通し	3,900	347	370	350	320		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>栃木、群馬など関東産地からの入荷が中心となる。各産地とも梅雨明け後の高温の影響で花落ちやハダニ類等害虫発生が散見されるが、生育は回復傾向にあり概ね良好。高知は中旬頃から入荷が始まる。</p> <p>入荷量は少なかった前年を大幅に上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					
ト マ ト	23年	8,202	356	373	322	378	青森 20%
	24年	8,898	328	253	387	359	北海道 17%
	25年	8,062	380	385	359	402	福島 15%
	26年	6,718	434	374	406	568	千葉 14%
	27年	6,680	449	480	426	443	群馬 8%
	5ヵ年平均	7,712	384	367	377	423	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
28年見通し	7,300	343	300	350	380		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道、千葉、青森、福島からの入荷が中心となる。前半は北海道、東北からの入荷が多くM玉中心の見込み。後半は千葉など関東抑制ものが出揃ってくる。</p> <p>入荷量は少なかった前年をかなり上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>					
ミ ニ ト マ ト	23年	1,270	686	713	655	687	北海道 32%
	24年	1,495	634	462	670	784	茨城 23%
	25年	1,617	755	710	813	737	青森 11%
	26年	1,664	856	793	830	960	千葉 7%
	27年	1,674	930	847	1,002	942	山形 6%
	5ヵ年平均	1,544	780	710	804	830	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
28年見通し	1,720	717	650	700	800		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道、茨城、青森、千葉からの入荷が中心となる。北海道は生育は概ね良好で中旬頃に2回目の出荷ピークを迎える。茨城は樹勢、着果は順調に推移しており前年並の出荷を見込む。</p> <p>入荷量は前年をわずかに上回り、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	23年	485	304	321	362	334	岩手 44%
	24年	475	218	274	259	234	北海道 34%
	25年	373	452	470	505	481	茨城 8%
	26年	419	455	585	450	367	青森 7%
	27年	379	518	499	601	534	
マ	5カ年平均	426	379	420	424	380	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	400	400	400	400	400	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>数量</p> <p>単価 円/Kg</p>					
<p>北海道、岩手を中心に入荷する。夏秋は終盤に入ってくる。生育は良好で安定した入荷となる。入荷量は前年よりやや上回り、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。</p>							
ばれい	23年	2,674	117	119	123	110	北海道 97%
	24年	2,347	71	83	74	67	青森 3%
	25年	2,395	138	143	149	127	
	26年	2,906	104	122	110	88	
	27年	3,214	112	119	116	107	
い	5カ年平均	2,707	109	118	115	100	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	3,000	110	115	110	105	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>数量</p> <p>単価 円/Kg</p>					
<p>北海道を中心に、青森の残量が入荷する。北海道の男爵は減っており、あまり多くない。台風の影響も懸念され、飽和した状態になることもなく価格は横這いで推移する。入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年並みとなる見込み。</p>							
たまねぎ	23年	4,292	88	79	95	98	北海道 98%
	24年	4,879	86	104	91	80	愛知 1%
	25年	4,073	106	109	110	108	中国 1%
	26年	4,951	100	126	102	88	
	27年	5,986	89	104	92	81	
ぎ	5カ年平均	4,836	93	105	97	90	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	5,600	90	100	90	80	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>数量</p> <p>単価 円/Kg</p>					
<p>ほぼ北海道から入荷する。今作は平年並みの作で早出し傾向となる。台風の影響も懸念されるが、9月は多くなり、ここまで高かったが下がってくる見込み。入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年並の見込み。</p>							

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	23年	2,179	240	229	269	240	茨城 37% 岩手 37% 青森 12% 福島 9% 北海道 2%
	24年	2,421	157	169	153	150	
	25年	2,076	403	387	437	385	
	26年	1,977	425	616	381	302	
	27年	1,878	484	443	556	452	
マ	5カ年平均	2,106	331	357	348	297	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	1,950	283	200	300	350	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城、岩手、青森、福島からの入荷が中心となる。東北産地は減少し茨城からの入荷が増えてくる。茨城は着果良好で順調出荷が期待できる。岩手は曇雨天の影響で生育がやや遅れ気味だが着果は良好。</p> <p>入荷量は前年をやや上回り、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。</p>					
ばれいしょ	23年	7,272	124	124	125	123	北海道 97% 青森 2%
	24年	7,401	85	88	85	81	
	25年	8,105	141	142	144	138	
	26年	8,112	118	127	119	104	
	27年	8,286	119	120	120	118	
い	5カ年平均	7,835	118	121	119	113	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	7,200	120	120	120	120	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道からの入荷がほとんどを占める。北海道は作付面積減で降雨が多く病害発生が懸念材料。台風の影響で冠水被害もあり出荷量は少なくなる見込み。</p> <p>入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年並の見込み。</p>					
たまねぎ	23年	10,821	94	84	97	100	北海道 95% 中国 3% 兵庫 1%
	24年	10,558	98	108	96	87	
	25年	11,075	113	113	113	113	
	26年	11,293	110	126	106	92	
	27年	11,897	95	102	94	86	
ね	5カ年平均	11,129	102	107	101	96	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	11,800	97	110	90	90	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道からの入荷が中心となる。北海道は台風の影響で冠水した地域があったが全道では降雨の影響少なく豊作傾向。多かった前年並の出荷を見込む。</p> <p>入荷量は前年並で、価格も前年並を見込む。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
果実計	23年	10,927	321	320	337	321	長野 30%
	24年	10,639	349	360	365	333	青森 13%
	25年	10,092	338	345	344	331	フィリピン 10%
	26年	11,361	346	355	357	333	三重 6%
	27年	9,964	371	406	350	365	
	5ヵ年平均	10,597	345	—	—	—	
	28年見通し	10,000	370	—	—	—	前年及び本年の入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
国内の産地は長野、青森、三重中心となる。これまでの気温が高く全体的に前進傾向。もも・ぶどうなど輸出需要が高まってきているなか、国内の消費者・販売にも力を注いでいくことも大切と思われる。 入荷量・価格ともに前年並みとなる見込み。							
みかん	23年	1,200	357	504	399	296	三重 46%
	24年	1,201	316	535	355	253	熊本 20%
	25年	1,173	304	451	339	242	宮崎 12%
	26年	1,235	300	483	317	242	佐賀 8%
	27年	1,331	289	501	286	250	
	5ヵ年平均	1,228	313	—	—	—	
	28年見通し	1,300	300	500	300	260	前年及び本年の入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
産地は三重、熊本、宮崎中心となる。ハウスみかんは9月中旬に切り上がりが始まる。今後、九州産の入荷が始まるが、気候が高温で乾燥気味で推移していることから、高い糖度のものが出回ると見込まれる。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年をやや上回る見込み。							
なし	23年	2,507	270	269	266	278	長野 72%
	24年	2,351	319	318	326	312	秋田 8%
	25年	1,886	292	282	291	309	愛知 6%
	26年	2,494	284	302	283	271	新潟 6%
	27年	1,860	306	321	286	319	
	5ヵ年平均	2,220	293	298	290	296	
	28年見通し	2,000	300	320	300	290	前年及び本年の入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
産地は長野中心で、若干秋田、愛知、新潟などから入る。生育が一週間ほど前進傾向となっており、幸水が切り上がって豊水などの晩成品種へ早めに切り替わっていく。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年並となる見込み。			注：平成27年、28年の4月、5月は入荷無しにつき単価は0円/kgで表記				

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
果実	23年	39,788	294	283	304	297	青森 12%
	24年	36,934	339	357	350	311	長野 10%
	25年	38,094	321	328	323	311	福島 8%
	26年	40,502	331	352	336	307	茨城 8%
	27年	37,450	349	373	345	331	栃木 7%
	5ヵ年平均	38,554	326	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	38,500	330	—	—	—	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
なし、りんご、みかん、ぶどうなどが入荷する。夏果実に続いて秋果実も生育は前進傾向となっている。全国的に残暑が厳しくなり夏果実は引き合いが見込まれる。台風9号、11号が関東に上陸したが大きな混乱は見られない。入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年をやや下回る見込み。							
みかん	23年	3,211	330	570	333	276	宮崎 36%
	24年	3,497	276	529	283	210	佐賀 20%
	25年	3,286	280	539	282	232	熊本 17%
	26年	3,479	263	587	275	215	愛媛 8%
	27年	3,228	269	465	264	229	福岡 6%
	5ヵ年平均	3,340	283	539	287	232	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	3,300	270	500	270	230	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
ハウスものは中旬から切り上がり始める。露地の極早生みかんは上旬から九州産の入荷が始まる。宮崎は前年並みの出荷となる見込み。熊本は雨が少なく肥大は遅れ気味であるが食味は充実している。入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年並みとなる見込み。							
なし	23年	13,196	224	209	235	229	栃木 27%
	24年	10,206	309	327	327	270	福島 25%
	25年	10,968	240	236	241	241	茨城 18%
	26年	11,576	252	287	243	223	千葉 13%
	27年	10,318	247	270	233	233	長野 5%
	5ヵ年平均	11,253	253	263	254	238	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	10,700	260	270	260	240	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
栃木、福島、茨城などから「豊水」・「幸水」を中心に入荷する。「豊水」について、栃木は前年より早めの生育となり肥大は順調。茨城は生育順調で潤沢な入荷となる見込み。「幸水」について、福島は前年並みの入荷となり9月中旬の切り上がりを見込む。入荷量、価格ともに前年をやや上回る見込み。			注：平成27年4月は入荷無しにつき単価は0円/kgで表記				

切花・鉢花の9月の見通し

切花（愛知名港花き地方卸売市場 8月31日現在）

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
輪 ぎ	実績	23年	2,142	57	
		24年	2,046	57	
		25年	2,032	58	
		26年	2,238	55	
		27年	2,100	58	
	5ヶ年平均	2,112	57		
28年見通し	2,100	58			
概要	愛知、長野、三重等から入荷。生育は概ね順調で、彼岸に向け入荷量が増加し、12日ごろピークを迎える。				
小 ぎ	実績	23年	2,102	33	
		24年	2,198	35	
		25年	2,421	31	
		26年	2,203	35	
		27年	2,100	40	
	5ヶ年平均	2,205	35		
28年見通し	2,200	35			
概要	愛知、長野、岩手、埼玉、奈良より入荷。愛知はやや前進気味だが、概ね順調な生育。関東以北の産地の台風の影響によっては、入荷量は減ってくる。				
カー ネ ー シ ョ ン	実績	23年	1,438	36	
		24年	1,186	37	
		25年	1,272	45	
		26年	1,224	50	
		27年	1,250	50	
	5ヶ年平均	1,274	43		
28年見通し	1,270	50			
概要	長野、北海道を中心に入荷。今年は7月が特に高温であったため、1週間ほど前進しており、中盤より一気に品薄になると思われる。				
か す み 草	実績	23年	91	96	
		24年	102	87	
		25年	99	152	
		26年	98	168	
		27年	100	150	
	5ヶ年平均	98	131		
28年見通し	100	150			
概要	長野、福島、北海道から入荷。業務(ブライダル)用の引合いは強い。敬老など一般需要も見込め、全体的に活発な動きになりそう。出荷は8月に前進気味が多かった分、9月は少なめで相場は堅調。				

単位：千本、円／本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ゆ り	実績	23年	422	180	
		24年	400	144	
		25年	390	178	
		26年	367	191	
		27年	380	180	
	5ヶ年平均		392	174	
	28年見通し		390	175	
概要	<p>オリエンタルは新潟、北海道、岐阜、埼玉から入荷。前半は数量が多く、苦しい販売。中旬以降は数量も減少し、業務、一般需要が見込め、活発な動きで相場も上がってくる。LAは埼玉、高知、鉄砲は愛媛、兵庫から入荷。LA、鉄砲は彼岸の販売で20日ごろまで数量も順調に入荷。生育はやや前進しているが、天候次第で動きも変わってくる。</p>				
洋 ら ん	実績	23年	552	72	
		24年	565	61	
		25年	540	74	
		26年	584	75	
		27年	560	70	
	5ヶ年平均		560	70	
	28年見通し		570	70	
概要	<p>愛知、鹿児島、静岡等と輸入物が入荷。まだ残暑が厳しい時期でもあるが、気温も次第に下がり品質が良くなってくるし、ブライダル等での需要もでてくるだろう。国産に関しては7、8月の猛暑の影響が9月に出てくるのが心配される。</p>				
ば ら	実績	23年	899	73	
		24年	887	64	
		25年	893	78	
		26年	831	75	
		27年	860	50	
	5ヶ年平均		874	68	
	28年見通し		870	65	
概要	<p>愛知、三重、岐阜、和歌山、長野、輸入等から入荷。各産地とも夏のダメージが抜けて、クオリティーも徐々に回復する見込み。シルバーウィーク、敬老等需要は徐々に上がってくる。</p>				
枝 も の	実績	23年	1,795	43	
		24年	1,608	41	
		25年	1,663	46	
		26年	1,595	47	
		27年	1,700	45	
	5ヶ年平均		1,672	44	
	28年見通し		1,700	44	
概要	<p>十五夜、敬老の日等のイベントもあり、前半は季節感のあるものは堅調に推移すると思われる。栽培物は柳類が多く、後半は引合いは弱くなりそう。</p>				

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ドラゼナ類	実績	23年	27,999	704	
		24年	29,097	730	
		25年	28,128	722	
		26年	24,095	773	
		27年	19,560	798	
	5ヶ年平均		25,776	741	
	28年見通し		20,000	750	
概要	<p>入荷量は昨年より減少か。愛知産が中心ではあるが、輸入原木の減少から大幅に入荷減と予想される。サイズは5～7号が中心で大鉢は少ない見込み。 昨年9月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位愛知(55.2%)、2位沖縄(13.8%)、3位鹿児島(11.5%)となっている。</p>				
オンシジウム	実績	23年	6,000	750	
		24年	5,965	734	
		25年	6,775	652	
		26年	5,512	638	
		27年	4,321	659	
	5ヶ年平均		5,715	688	
	28年見通し		4,500	644	
概要	<p>入荷量は昨年並みか。時期的に出荷量が増えるタイミングなので早めの提案や販売へのご協力をお願いしたい。 昨年9月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位愛知(59.8%)、2位熊本(16.6%)、3位長崎(14.0%)となっている。</p>				
アンズリウム	実績	23年	12,468	718	
		24年	12,576	759	
		25年	13,345	748	
		26年	10,808	750	
		27年	5,978	775	
	5ヶ年平均		11,035	747	
	28年見通し		6,000	750	
概要	<p>入荷量は昨年より減少か。作付けは大きく変更ないが8月までに前倒し出荷が多い見込み。6号・7号サイズが主体で入荷が多く、色別では(赤・ピンク)が中心と思われる。 昨年9月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位愛知(98.3%)、2位岐阜(1.0%)、3位その他(0.5%)となっている。</p>				

単位：鉢、円／鉢

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
シヤコバ	実績	23年	45,961	392	
		24年	39,762	390	
		25年	49,141	375	
		26年	38,620	396	
		27年	29,935	424	
	5ヶ年平均	40,684	393		
	28年見通し	28,000	429		
概要	<p>9月から本格的に出荷が始まるが、全国的にシヤコバの生産量が減少しており入荷量は昨年より減少する見込み。販売動向は昨年に引き続き、量販系の注文を中心に5号サイズ以下の動きは良いが、6号以上の高単価の商品は年々厳しい状況。 昨年9月の主要県の入荷実績（金額ベース）は、1位埼玉（55.2%）、2位愛知（42.3%）、3位茨城（1.3%）となっている。</p>				
シクラメン	実績	23年	85,045	148	
		24年	35,883	141	
		25年	148,054	149	
		26年	149,159	147	
		27年	160,315	148	
	5ヶ年平均	115,691	147		
	28年見通し	160,000	148		
概要	<p>入荷量は昨年並か。9月は入荷の大半を3号ガーデンシクラメンが占める。価格面では残暑が残る上旬は厳しく、下旬にかけて引き合いが強くなる見込み。 昨年9月の主要県の入荷実績（金額ベース）は、1位長野（75.2%）、2位愛知（13.6%）、3位兵庫（7.1%）となっている。</p>				
カランコエ	実績	23年	65,686	182	
		24年	66,622	180	
		25年	67,390	186	
		26年	64,947	194	
		27年	53,038	195	
	5ヶ年平均	63,537	187		
	28年見通し	55,000	195		
概要	<p>入荷量は昨年並か。9月は特に4号～6号まで引き合い強くなる見込み。また関東山上げ物の3.5号のポット物の入荷もピークをむかえ安定した取引が予想される。 昨年9月の主要県の入荷実績（金額ベース）は、1位埼玉（67.6%）、2位岐阜（18.5%）、3位茨城（13.1%）となっている。</p>				

主要農林水産物の輸出入実績(2016年)

1 輸出実績

品名	6月						6月までの累計					
	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比
	トン	%	千円	%	円/kg	%	トン	%	千円	%	円/kg	%
果実(生鮮・乾燥)	569	112.7	475,489	121.7	836	99.7	16,764	113	8,092,626	122	483	109
うんしゅうみかん	4	91.6	5,542	110.8	1,377	116.3	249	92	168,446	111	676	108
りんご	367	112.9	142,745	118.4	389	85.2	15,576	113	6,230,632	118	400	108
なし	-	44.3	-	40.5	-	-	27	44	12,552	41	474	91
野菜(生鮮・冷蔵・乾燥)	337,677	151.6	2,933,235	152
緑茶	335	112.7	1,040,010	121.8	3,104	123.1	2,036	113	5,361,598	122	2,633	98

2 輸入実績

野菜(生鮮・冷蔵)	74,447	89.2	7,254,605	99.2	97	96.0	389,081	89	49,651,643	99	128	111
トマト	500	95.1	183,082	94.6	366	95.4	2,919	95	1,104,286	95	378	99
たまねぎ	35,056	72.7	1,637,905	93.2	47	94.8	121,884	73	7,998,662	93	66	128
にんにく	1,440	98.3	402,225	120.0	279	119.5	9,588	98	2,499,795	120	261	122
ねぎ	4,384	88.5	586,369	135.7	134	89.3	23,962	89	4,284,212	136	179	153
結球キャベツ	1,374	37.4	40,267	35.2	29	58.2	5,465	37	230,860	35	42	94
ブロッコリー	2,092	105.5	489,731	92.3	234	85.1	10,686	106	2,434,076	92	228	87
にんじん・かぶ	6,507	78.6	387,072	102.7	59	116.5	28,044	79	1,798,211	103	64	131
ごぼう	3,032	118.2	197,044	129.9	65	97.6	21,223	118	1,401,269	130	66	110
えんどう	50	84.0	21,502	104.7	432	101.6	442	84	226,752	105	513	125
アスパラガス	144	120.6	120,764	108.2	841	94.7	5,705	121	3,987,655	108	699	90
まつたけ	1	379.8	13,770	492.3	9,254	108.0	2	380	14,592	492	8,812	130
しいたけ	82	73.5	30,607	69.2	375	78.8	873	74	314,991	69	361	94
かぼちゃ	8,691	106.9	883,407	81.8	102	79.9	90,762	107	7,274,838	82	80	77
果実(生鮮・乾燥)	180,301	103.6	36,373,478	98.7	202	93.6	904,153	104	170,645,088	99	189	95
バナナ(生鮮)	84,388	101.7	9,373,182	105.0	111	96.3	488,496	102	51,329,398	105	105	103
パイナップル(生鮮)	13,223	94.0	1,314,976	109.9	99	112.5	72,051	94	7,022,838	110	97	117
レモン(生鮮・乾燥)	5,290	99.3	1,092,641	85.9	207	84.4	23,408	99	5,293,974	86	226	87
オレンジ(生鮮・乾燥)	17,693	118.8	2,390,705	104.6	135	86.1	59,765	119	8,562,039	105	143	88
グレープフルーツ(生鮮・乾燥)	10,877	80.8	1,172,716	85.1	108	120.4	46,204	81	6,624,986	85	143	105
メロン(生鮮)	2,946	118.0	320,519	117.8	109	100.1	19,111	118	2,073,268	118	108	100
ぶどう(生鮮・乾燥)	4,221	125.7	1,351,125	109.1	320	86.7	35,577	115	10,978,979	113	309	98
キウイフルーツ(生鮮)	22,443	117.9	7,767,617	116.1	346	97.7	52,334	118	18,168,415	116	347	98
いちご(生鮮)	319	100.9	314,632	90.4	987	88.7	364	101	360,652	90	991	90
切花(生鮮・乾燥)	2,487	100.0	2,205,486	95.1	887	89.6	18,304	100	16,726,539	95	914	95
鳥獣肉類	171,093	107.9	82,934,496	94.2	485	91.9	1,003,652	108	479,299,464	94	478	87
牛肉(くず肉含む)	39,461	96.6	23,868,425	79.2	605	87.3	235,012	97	137,236,045	79	584	82
豚肉(くず肉含む)	75,662	112.8	39,737,309	109.3	525	98.8	428,807	113	225,764,438	109	526	97
鶏肉	45,137	112.0	9,226,882	80.8	204	68.1	279,081	112	62,017,917	81	222	72
水産物(生鮮・冷蔵・冷凍)	122,872	97.5	78,649,481	94.0	640	98.9	802,927	98	516,294,547	94	643	96
まぐろ類	13,600	108.3	10,073,483	96.2	741	82.0	105,330	108	96,714,572	96	918	89
さば・さんま・あじ・いわし	2,811	91.5	611,539	81.4	218	96.0	41,640	92	8,204,996	81	197	89

資料 農林水産省大臣官房統計部「農林水産物輸出入情報」

※速報値によるデータのため、累計値に誤差がある場合があります。

※表中に使用した符号は、次のとおりです。

- 「 0 」・・・単位に満たないもの
- 「 ... 」・・・事実不詳
- 「 - 」・・・事実のないもの

関 連 指 数

項目 年月		消費者物価指数 <small>(全国 平成22年=100) 愛知県 平成22年=100)</small>				
		総合	生鮮野菜	生鮮果物	肉類	魚介類
全 国	25年 平均	100.0	96.4	101.6	99.3	102.4
	26年 平均	102.8	99.3	105.8	106.8	112.3
	27年 平均	103.6	108.0	114.3	112.1	116.6
	28年 4月	103.4	109.9	125.4	113.9	115.8
	5月	103.6	108.2	132.8	113.8	115.9
6月	103.3	107.7	114.3	114.2	116.2	
愛 知 県	25年 平均	99.9	98.7	104.1	99.1	103.5
	26年 平均	102.6	103.7	109.6	107.3	112.7
	27年 平均	103.5	111.3	117.3	114.7	115.7
	28年 4月	103.5	112.5	127.4	119.5	111.5
	5月	103.6	108.2	138.1	116.7	115.0
6月	103.4	109.2	112.8	118.0	115.3	

項目 年月		農業物価指数(平成22年=100)				
		農産物総合	米	野菜	果実	畜産物
25年	平均	102.8	112.8	98.7	94.7	107.7
	26年 平均	102.2	98.8	97.8	93.3	118.4
	27年 平均	107.6	88.6	110.4	105.4	126.8
	28年 4月	113.8	93.5	108.7	128.6	130.0
	5月	114.0	93.6	108.1	141.8	131.1
6月	109.4	93.6	108.6	113.5	132.4	

資料 農林水産省大臣官房統計部「農業物価指数」

資料 全 国…総務省統計局「消費者物価指数月報」
愛知県…愛知県県民生活部「名古屋市消費者物価指数」

名古屋市小売価格(円)													
品目 年月	うるち米 (単一品種「コシヒカリ」以外)	キャベツ	はくさい	ねぎ	レタス	ばれいしょ	だいこん	にんじん	たまねぎ	きゅうり	トマト	生しいたけ	りんご(ふじ)
	5kg	1kg										100g	1kg
25年 平均	2,149	156	202	631	499	304	162	367	225	564	652	165	494
26年 平均	1,970	170	190	661	481	321	162	376	276	581	649	161	545
27年 平均	1,855	202	227	691	561	374	175	373	270	623	684	180	563
28年 4月	1,901	181	271	625	538	432	179	395	244	504	769	175	593
5月	1,909	206	255	816	381	391	183	385	241	467	656	163	678
6月	1,910	170	232	836	398	399	178	425	253	547	598	163	699
品目 年月	みかん	グレープフルーツ	オレンジ	いちご	バナナ	キウイフルーツ	緑茶(せん茶)	カーネーション	きく	バラ	牛肉(ロース)	豚肉(バラ※)	まぐろ
	1kg		100g	1kg		100g	1本		100g				
25年 平均	557	300	364	209	216	772	540	157	177	319	810	223	407
26年 平均	584	336	437	174	240	824	533	166	175	336	861	243	428
27年 平均	643	383	477	183	264	886	526	177	177	353	925	228	461
28年 4月	…	415	422	166	273	1,116	518	187	190	362	932	246	446
5月	…	426	489	190	272	1,005	497	191	187	352	934	228	482
6月	…	392	445	…	271	950	497	179	185	335	933	236	487

※豚肉は26年12月までロースの価格を示す。

資料 総務省統計局「小売物価統計調査報告」



いいともあいち運動って知ってる??

- 県内の消費者と生産者が今まで以上にいい友関係になる
- Eat more Aichi products (イート モア アイチ プロダクツ)
＝もっと愛知県産品を食べよう (利用しよう)

愛知県の農林水産業の振興や農山漁村の活性化を通じて県民全体の暮らしの向上を図るため、県民の方々に「愛知県農林水産業の応援団」になってもらい、消費者と生産者が一緒になって愛知県の農林水産業を支えていこうという「運動」です。

県民の方々に愛知県産農林水産物をもっと利用していただきたいという、「愛知県版地産地消の取組」でもあります。

あいち農産物生産流通レポート No.519
平成28年9月発行
農林水産部食育推進課
〒460-8501
名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
電話 (052) 954-6719